

I P W 緩和ケアコース 多職種協働事例検討研修

北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2024.5.11 土 13:00-16:00

7.13/9.14/11.9/1.11/3.8 (全6回)

申込 長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」からお申し込みください。
申込みフォームお問合せ欄に、**第何回を受講されるかを記入**してください。
(例：全回希望、第1、2回希望 など)



第1回

ケミカルコーピング(医療用麻薬の依存症)

事例 Aさん(男性)は60歳代で「腓骨部がん」である。痛みが強く、オピオイドを増量してもレスキュー回数は8~10回/日で、主治医はケミカルコーピングと判断した。ある日医師に「痛みをどうにかしろ、いつ良くなるのか言えよ!!」と怒鳴りつけた。

講師 高林 真貴子氏 (金沢大学病院 薬剤師)

第2回 7.13(土) 倫理ジレンマ

事例 認知症高齢者への積極的
化学療法。家族の要望では
あるけれど...

第3回 9.21(土) コンフリクト

事例 BSCを告げる時、激しい
「怒り」で、治療継続を求
める患者家族

会場 オンライン
(ZOOM)

対象 医師・看護師・
MSW・薬剤師など

第4回 11.9(土) 倫理ジレンマ

事例 AYA患者の治療拒否
家族は治療希望で医療者
間でも意見が分かれて...

第5回 1.11(土) 倫理ジレンマ

事例 一人親家庭の親が終末期
となった。子どもには、病
気の話をしていなくて...

第6回 3.8(土) 倫理ジレンマ

事例 BSC(死)が直視できず
終末期の過ごし方の話が
できない